

1 事業名

「体験の風をおこそう」運動協賛事業
平成28年度教育事業「Kids Together えいごdeキャンプ in テンパーク」

2 趣旨(事業の目的)

東日本大震災の被害を受けた岩手県内沿岸市町村の陸前高田市・大船渡市・釜石市・宮古市・久慈市・住田町・大槌町・山田町・岩泉町・田野畑村・洋野町・野田村・普代村の児童生徒に対し復興支援の一環として、様々な自然体験活動や英語を使った国際交流活動を行い、同郷の友達と交流やふれあいを深めるとともに、豊かな心を育み心身のリフレッシュの機会とする。

3 期日

- 1 平成28年 7月23日(土)～25日(日) 2泊3日 (共催事業)
- 2 平成28年10月15日(日)～16日(月) 1泊2日 (共催・教育事業)
- 3 平成28年12月10日(土)～11日(日) 1泊2日 (共催・教育事業)
- 4 平成29年 2月25日(土)～26日(日) 1泊2日 (共催事業)
- 5 平成29年 3月25日(土)～26日(日) 1泊2日 (共催事業)

4 参加者

陸前高田市・大船渡市・釜石市・宮古市・久慈市・住田町・大槌町・山田町・岩泉町・田野畑村・洋野町・野田村・普代村の小学校3年生～中学校3年生

- 1 中学校1年生～中学校3年生 28名
ボランティア 11名(NICEボランティア 10名, HSBC社員ボランティア 1名)
- 2 小学校3年生～中学校3年生 185名
ボランティア 53名(NICEボラ17名, HSBC社員ボラ 2名, 岩手山ボラ34名)
- 3 小学校3年生～中学校3年生 112名
ボランティア 48名(NICEボラ16名, HSBC社員ボラ 2名, 岩手山ボラ30名)
- 4 中学校1年生～中学校3年生 27名
ボランティア 4名(HSBC社員ボラ 4名)
- 5 中学校1年生～中学校3年生 23名
ボランティア 6名(HSBC社員ボラ 6名)

5 連携・協力

- (1) 主催: NPO法人日本国際ワークキャンプセンター(NICE)
- (2) 共催: 国立岩手山青少年交流の家
- (3) 協賛: HSBCグループ, Water Dragon Foundation, みちのく「体験の風をおこそう」運動推進協議会
- (4) 協力: 自然遊びクラブ, 株式会社岩手ホテル&リゾート
- (5) 後援: 宮古教育事務所, 沿岸南部教育事務所, 県北教育事務所

6 内容

(1) 日程

- ①【第1日目 7月23日(土)】岩手県立御所湖広域公園漕艇場, 安比高原
チームビルディングゲーム・カヌー体験
【第2日目 7月24日(日)】安比高原
マウンテンバイク体験・釣り体験・デザート作り体験, 英語で発表会
【第3日目 7月25日(月)】安比高原
思い出創作体験
- ②【第1日目 10月15日(土)】国立岩手山青少年交流の家
森のウォークラリー・ハロウィンパーティー(ミュージックプログラム)
【第2日目 10月16日(日)】国立岩手山青少年交流の家
ハロウィンパーティー(クラフトワークショップ, インターナショナルゲーム, 音楽・科学・スポーツ体験)
- ③【第1日目 12月10日(土)】花巻市石鳥谷アイスアリーナ, 国立岩手山青少年交流の家
スケート体験教室・クリスマスコンサート
【第2日目 12月11日(日)】国立岩手山青少年交流の家
クリスマスパーティー(クラフトワークショップ, インターナショナルゲーム, 音楽・科学・スポーツ体験)
- ④【第1日目 2月25日(土)】安比高原
スキー・スノーボードレッスン, 国際交流ゲーム
【第2日目 2月26日(日)】安比高原
スキー・スノーボードレッスン
- ⑤【第1日目 3月25日(土)】安比高原
スキー・スノーボードレッスン, 国際交流ゲーム
【第2日目 3月26日(日)】安比高原
スキー・スノーボードレッスン

(2) 指導者

自然遊びクラブ

豊留 雄二 氏

NPO法人日本国際ワークキャンプセンター(NICE)	上田 英司 氏	三上はる菜 氏
岩手山青少年交流の家	企画指導専門職	佐々木真里子, 中村 聡
	事業推進係	山崎 啓陽, 鈴木 孔明
イーハトーヴォ安比高原自然学校		5名
岩手県スケート連盟公認指導員		10名
ICT音楽教育家		鈴木 正樹 氏
夜長三丁目カルテット	寺山 貴大 氏	
安比高原 スキー, スノーボードインストラクター		

(3) 企画のポイント

東日本大震災及び平成29年台風10号の被害を受け仮設住宅で暮らす子供たちや、学校の校庭に仮設住宅が立ち並び、十分な遊びができない子供たちが、思いっきり遊ぶことのできる体験プログラムを設定した。事前に安全管理意識を高めるための綿密な打ち合わせを実施したことで、交流の家、HSBC、NICEのスタッフ間で密な連携をとることができ、プログラムを安全に進めることができた。各回のプログラムでは、チームで協力したりチャレンジしたりする機会を多く設定した。その際、仲間と支え合い、交流を深めるとともに楽しみながら英語に触れ、国際理解を深めることができるように外国人ボランティアと密な打ち合わせを行った。

(4) 広報のポイント

宮古教育事務所、沿岸南部教育事務所、県北教育事務所の理解と協力を得て、事務所管内の小学校・中学校にチラシを配布し、企画の周知を行った。

(5) 運営のポイント

「えいごdeキャンプ」は、HSBCグループのコーポレート・サステナビリティ(社会貢献)事業の一環で行われている。また、委託先である主催団体のNICEは、青年向けの国際ワークキャンプ団体である。NICEは、組織としての運営ノウハウを高いレベルで有しているが、青少年に関わるための教育的ノウハウや、安全に野外活動を実施するための指導力の確保が課題である。そこで、開催地である岩手山青少年交流の家が職員及びボランティアを派遣することで教育的ノウハウを補完し、同じく開催地の団体である「自然遊びクラブ」が野外活動の安全面についてコーディネートすることで、事業の効率的かつ質の高い運営を実現している。

交流の家を含めた4つの団体は「沿岸地域の児童を支援する」という目指すべきミッションを共通で認識しており、それぞれの団体が、その特性を存分に活かすことで有機的な協力関係を実現している。

NICEのキャンプ運営ノウハウ、HSBCグループの多国籍社員スタッフの派遣、自然遊びクラブの野外活動スキル、そして岩手山青少年交流の家の教育的ノウハウが密接に絡み合い、事業を運営している点が本事業における最大の運営ポイントであるといえる。

7 成果とその普及

子供たちの感想からは、「いろいろな体験ができ、外国の人とも仲良く活動ができて楽しかった。」「外国の人に教えてもらいながらいろいろな国のことや言葉を学ぶことができた。」「英語を使うゲームで外国の人と話ができるようになったし、新しい友達ができとても楽しかった。またこのキャンプに参加したい。」などの感想が寄せられた。このことから、キャンプの特徴である外国語圏のスタッフとの国際交流やコミュニケーション・友達同士の交流を通して心身共にリフレッシュでき、活動内容の有効性が認められたと考えられる。また、普段外国の人と接することが少ない子供たちにとってこのキャンプは、外国語圏のスタッフとコミュニケーションを図る大変良い機会となった。様々な活動をともに行うことで英語を身近なものと感じることができた。また、事業に参加した岩手山法人ボランティアからも、外国語圏のボランティアと協力して活動することができ、コミュニケーションを図ることができてよかったという声が多く聞かれ、積極的に参加する法人ボランティアが増えてきている。

「えいごdeキャンプ」では、平成25年度から継続して参加者の「情動知能(EQSC)」調査を実施している。データの分析から震災が被災地の子供に対する心理的な影響が明らかとなっており、継続的に参加している子供たちほど、情動知能が向上していることがわかった。また、平成25年度の調査では、特に自己対応領域の数値が内陸部の直接的に被災していない子供たちに比べて、沿岸部の直接津波に被災した子供たちの値が著しく低い可能性が示唆されていた。しかしながら、平成28年までの継続した調査において、子供たちの自己対応能力は回復傾向であるとともに、キャンプに参加することで向上することが明らかとなった。この調査結果は、今後訪れる可能性のある自然災害時の子供たちへの支援のあり方の一助として重要な資料であると考えられる。(この研究結果は、平成26年10月の青少年教育研究センター紀要第3号に掲載されている)

企画の概要・報告書等はHPへの掲載、館内に写真を掲示し利用者への紹介をとおして幅広く普及に努めた。

8 今後の課題

毎回、季節に応じたプログラムを提供しているが、さらに、HSBC・NICE等との連携を深め、外国人スタッフと英語を用いた活動プログラムを開発し、プログラム全体を改善しながら事業展開を行っていききたい。また、新しく開発した活動プログラムについては、交流の家の活動に取り入れるようにしていきたい。

「情動知能(EQSC)」調査において、リピーターの情動知能が向上していることが明らかになっているので、新規参加者が増えるように広報を工夫し、今後も継続的な支援を図っていききたい。

心身のリフレッシュを目的に行っている事業であるが、事業を継続して5年という一つの節目を迎えたことから、今後は本事業に参加した子供たちが、支援する側として地域貢献や人材育成につながるよう、フォローアップも含めた事業を展開していきたい。



カヌー体験

